

# あおもり

## CONTENTS 目次

特集 ▶ P2-5

### あおもりで暮らそう!あおもりに帰ろう

旬を食べよう。あおもり野菜で簡単ヘルシークッキング/  
青森さらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶P6

想定を上まわる災害が発生しています/  
青森県職員の給与と職員数のあらし/  
12月は地球温暖化防止月間です ▶P7

申吾のほっとコラム/あおもりインフォメーション ▶P8



## 物語を紡ぐ 裂織ルネッサンス!

布が貴重だった江戸時代、着古した着物などを裂いて再生する機織りはたおの「技法として生まれた「南部裂織」の命をいとおしみ、大切にする先人の知恵が込められており、青森県の伝統工芸品に指定されています。

裂織に魅せられた故・菅野暎子さんは、失われつつあった南部裂織の普及と伝承のため、昭和50年、十和田市で「南部裂織保存会」を設立。その後、菅野さんの意思を受け継いだ青森県伝統工芸士・澤頭ユミ子さんが中心となり、どこにもない誇るべき文化だからこそ、芸術・教育・産業に高めようと200名にも及ぶ会員らが一丸となって活動を続けています。「道の駅とわだ」に隣接する「匠工房」には、菅野さんらが収集した地機じばた約70台がズラリと並び、製作体験も楽しめます。

かつては、こたつ掛けとしての用途が主でしたが、最近では、鮮やかな市松模様や「南部のタータンチェック」として称賛され、ブランケットやラグマットとしても人気。また、美大生やアーティストと同会のコラボにより、新しいプロダクトを生み出す「Sakiori 3G Project」など、世代や業種を超えた活動も展開中! 約200年前に「もったいない精神」から生まれた布は、古くて新しいお洒落アイテムとして、若い世代からも注目が集まっています。

▼関連記事はP66で

ギャレス&高校生がアツク語る! 青森県で「働く&暮らす」魅力

# 私たちが青森県を選んだ理由

大好きな青森県で働ける喜び

——自己紹介をお願いします。

**ギャレス・バーンズ** 私はアメリカ出身で、平成17年に米軍三沢基地に配属されたのがきっかけで青森県にやってきました。退役後、弘前で英会話教室を開き、1年たったらアメリカに帰るつもりが、なぜか青森県が気に入っちゃって(笑)。それで、平川市に家建てて、現在青森県出身の妻と昨年生まれた娘との3人暮らし。時々、趣味で津軽三味線を弾いています。

**山口裕乃** 私は、最初から県内就職を希望していて、県内に本社があるスーパーマーケットに就職が内定しています。今は、早くお金を貯めて、家族を旅行に連れていくことを目標にしています。



## ギャレス・バーンズ

アメリカ出身。平成17年に米軍三沢基地に配属され、平成19年に退役。その後、「GAB English School」の開設、TV番組へ出演する一方、三味線奏者としても数々の賞を受賞。平成28年10月には、弘前市で自家製クラフトビール工房「BE EASY BREWING」を創業するなど多方面で活躍中。現在、平川市在住。



## 和田悠汰

私も県外就職は全く考えて

いなくて。卒業後は、各種ガスの製造・販売などを行う県内の企業に就職予定です。

**田中梨紗** 親から県内でも県外でも、自分の進みたい道に進みなさいと常に言われていたのですが、自分自身、青森県が好きなので、卒業後は仙台に本社がある企業の青森事業所で働く予定です。

**伊瀬谷玲** 地域の消防団に入っている伯父のかっこいい姿にずっと憧れていて。将来は、消防士になって自分も地域のため

**将来を選択する前にふるさとの魅力を再認識してほしい。**

人口減少は、本県の最重要課題であり、特に、若者が就職や進学をきっかけに県外へ転出していることが、大きな課題となっています。

県内・県外就職で迷っている方や県外に就職したいと考えている方、そして、そのご家族や先生も、もしかして青森県の「くらし」や「しごと」の本当の魅力に気づかないまま、将来の選択をしているのかもしれない。今回は、青森県の魅力に惹かれ、この地で暮らし、新たなしごとづくりにもチャレンジし続けるギャレス・バーンズさんと青森商業高校の生徒の皆さんに、青森県の暮らしやすさ、自分らしい生き方について話していただきました。

に働きたいと思っています。

**鹿内玲那** 私は、具体的な進路については、県内・県外含め、まだ決まっていませんが、今、ヒップホップダンスをやっている、将来はJポップの歌手になりたいという夢があります。

大自然、おいしい食べ物、厚い人情も青森の魅力

——県内就職を希望した理由と青森の好きなところは？

**田中** ひとつには、親や友だちがいる地元の方が安心だから。あとは、今、青森県の人口が減っている、地元に残ろうかと。一同 おう!すごい(笑)。

**和田** 青森は海も山もきれいで、温泉も多い。都会よりも断然暮らしやすいと思う。

**山口** 人情に厚いのも魅力!

**伊瀬谷** ねぶたなどのお祭りや地域の行事も多くて、仲間と参加できるのが楽しい。

**田中** 私も青森ねぶたが大好き!そもそも、今の会社を志望した理由のひとつは、会社でねぶたを出していることにも惹かれたから。ねぶたで地域を盛り上げて、少しでも観光客が増え



たらしいなと思っています。

**ギャレス** のんびり生活できるし、特に子育て環境は抜群!近所のおじいちゃん、おばあちゃんたち地域の皆さんが子どもをすごく可愛がってくれて応援してくれる。心強いですね。庭でパーティーもできるし、自宅で三味線を弾いても近所迷惑にならないし。東京では、ありえないぜいたくだよね。

**山口** すごくわかります。よく「青森は何もない」って言うけど、私はのんびりした性格なので、青森のおいしいものを食べて、おいしい水を飲んでゴロゴロできれば幸せ(笑)。

**田中** やっぱり東京の満員電車が苦手。通勤だけであんなに変な思いをするなんて。ギャレス それ、すごいわかる!たまに遊びに行く分には楽しいけどね。今はネットがあるから、青森にいても買い物は困らないな。

**鹿内** 皆さんのお話を聞いていたら、住み慣れた場所がいいなと思ってきました。やっぱり、暮らしやすさって大きいかも。東京は憧れで終わるかも...



青森に人を呼ぶために自分たちで考えることが大切

——より住みやすい青森県にするには？

和田 若い人が利用できるショッピングモールがあればいいな。山口 青森県は賃金が低いからな。

ギャレス じゃあ、賃金をアップしたり、青森県にもっと人を呼ぶためのアイデアがないか自分たちで考えてみようよ。

山口 そう！陸奥湾にもイルカがいて時期によってはイルカの泳姿が見られるし、意外に知られていない魅力を集めて

PRしたらいいかも！

鹿内 パワースポット巡りも若い人に人気らしいですよ。

青森でチャレンジし続けよう！

ギャレス 青森県の人には、「青森だから」「田舎だから」じゃなく、もっと青森のことを信じて応援してほしい。方言が田舎くさいと思ってる人がいるけど、逆に東京で青森の方言をしゃべる人の方がかっこいいと思う。りんごやまぐろだけじゃない。一人ひとりが「私イチオシの青森」を見つけて、もっと全国や世界に自慢してほしいな。

和田 ギャレスさんの「クラブトビール工房」を立ち上げるとか、いろんなことに挑戦するところは、すごいと思う。

ギャレス よく「〇〇のせいで仕事がない」って、愚痴る人がいるでしょ。でも、仕事は自分でつくるもの。だから、若い人には失敗を恐れず、青森県でほしいものがあれば自分でつくるくらいの意気込みで挑戦してほしいな！

山口 裕乃(やまぐち ひろの・3年生)

## 都道府県ランキングからわかる

# 青森暮らしやすさDATA

※青森県企画政策部「アオモリドラゲナイ」より

**家賃が安い**  
家賃(1畳当たり)  
47都道府県中 全国第1位  
青森県 1,886円 / 全国平均 3,178円  
※総務省統計局：住宅・土地総計調査(2013年10月1日)

山口 裕乃(やまぐち ひろの・3年生)

**気軽に温泉等が楽しめる**  
公衆浴場数(人口10万人当たり)  
47都道府県中 全国第1位  
青森県 24.5箇所 / 全国平均 3.8箇所  
※総務省統計局：統計でみる都道府県のすがた 2015

和田 悠汰(わだ ゆうた・3年生)

**魅力的な伝統芸能・祭り・イベントがある**  
47都道府県中 全国第2位  
※ブランド総合研究所：地域ブランド調査 2014 報告書

鹿内 玲那(しかない れな・2年生)

**海・山・川・湖などの自然が豊か**  
47都道府県中 全国第2位  
※ブランド総合研究所：地域ブランド調査 2014 報告書

伊瀬谷 玲(いせや れい・2年生)

**親切な人が多いと思う**  
47都道府県中 全国第3位  
※VVBモニターアンケート調査「親切な人が多いと思う都道府県ランキング」(NTTコムリサーチ)

田中 梨紗(たなか りさ・3年生)

座談会に参加してくれた青森商業高校の生徒のみなさんです。

企業と生徒の交流の場が増えれば

——生徒の皆さんが、県や学校、企業に期待することは？

山口 今年の夏、市内のホテルで県内企業の説明会があったんですが、あんな風に企業の方と直接話すことができる機会がもっと欲しいですね。

和田 そうそう。ただ、かなり混雑していたので、会場のスペースにもう少し余裕があればゆっくりお話が聞けるのかなと思いました。

——生徒の皆さんから進路に悩む後輩たちにメッセージを！



伊瀬谷 県内・県外で悩んだら、青森の住みやすさにも着目してほしいです。

鹿内 2年生の私はいろんな人の話を聞いて情報収集し、悔いがないように選択したいですね。和田 青森には青森にしかない良さがあります。ぜひ、一緒にふるさとで働きましょう！



田中 首都圏でなくてもできる仕事はあるので、広い視野で選択肢を増やしてほしいです。

山口 都会に憧れを持つのもいいけど、青森にもいいところがたくさんある。自分も青森の良さをまわりの人に伝えていけるような人になりたいです！

### 青森県の暮らしやすさがわかる冊子「アオモリドラゲナイ」

県では、本県の未来を担う若者のみなさんに向けて、本県の「暮らしやすさ」を指標などでわかりやすく紹介した冊子「AOMORI DRAGON KNIGHTS～青い森の秘宝～」(略して「アオモリドラゲナイ」)を作成しました。これから進路を考える県内の高校2年生全員に配布したほか、県庁ホームページにも掲載しています。世代を問わず楽しめる内容となっていますので、是非ご覧ください。



詳しくは、   
問 企画調整課 ☎017-734-9131

# 聞いてみよう! 青森で「働く&暮らす」

専門家に聞く!

「仕事」「家庭」「地域」3つの軸足が持てる地元暮らしのメリット



【インタビュー】  
青森中央学院大学教授  
しおやみ  
**塩谷 未知**さん

「一流の田舎」をもっと自慢しよう!

以前、ある人から、「青森は一流の田舎である」という言葉を聞きました。が、全国各地を訪れてきた私から見ても、青森は本当に豊かで魅力的なところですよ。

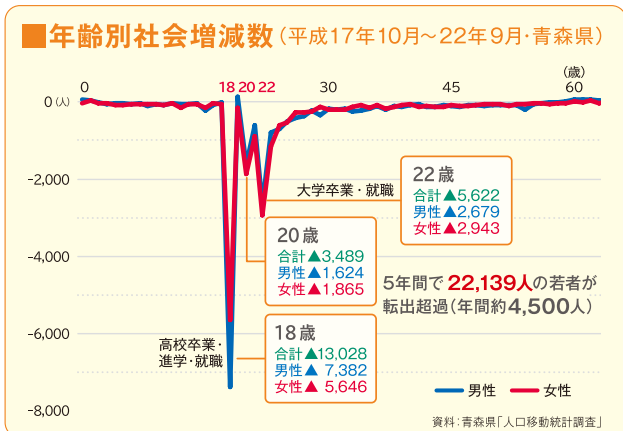
自然の美しさ、伝統的な祭りはもちろんですが、小規模ながらひたむきなおいしいお酒を造っている酒蔵など、真正直なものづくりの姿勢においても全国に誇るべきものがあります。

もっと増やしたい! 若者と企業の交流の場

自分が生まれ育った場所、働き、暮らすメリットは、「仕事」、「家庭」、「地域」という3つの軸足が

持てることです。県内の企業のなかには、自社の技術にプライドを持ち、地域コミュニティのなかで重要な役割を果たしている会社も少なくありません。若者がそうした優れた企業で働くことで、地域とともに自身も成長できれば素晴らしいことです。

新しいアイデアでこれまでないサービスを始めたり、地域の問題解決にあたるなど、地方の小さな会社だからこそできるイノベーションのチャンスもたくさんあると思います。



よく、「人生は何人かの良い大人に出会えると充実する」と言われます。それは、親や先生、そして「〇〇さんのようにになりたい」という人生のロールモデル(規範)となる人だと思えます。ですから、進路を決めるまでにたくさんの方の話を聞き視野を広げることが大切です。若者がもつと県内の企業と接点を持つ機会を設ける必要もあるのではないのでしょうか。互いの交流の場を増やし、理解を深めることが大切だと感じています。

より多くの情報を生徒に提供するために



【インタビュー】  
県立青森商業高等学校  
教諭 進路指導部主任  
きだ たかみ  
**木田 孝夫**さん

本校は、県内就職希望者の割合が県内の高校でも高い方で、県内が7割、県外が3割となっています。県外就職を希望する主な理由としては、「県外に出てみたい」、「県内には自分が見たい職種がない」

しかし、「希望する職種さえあれば、本当は県内で暮らしたい」という生徒もいますので、学校側も積極的に県内企業の情報収集に努め、企業の方にもこれまで以上にPRしていただくなど、両者が情報共有できる仕組みを

学校と企業が情報共有できる仕組みを

先生に聞く!

共有できる仕組みが必要であり、同時に起業教育も重要だと思います。「暮らしやすさ」にも着目してアプローチ

県内企業の業務紹介にとどまらず、社独自のユニークな活動などにもスポットをあてた情報があれば、生徒たちも県内で働きながら暮らす自分の姿がイメージしやすいと思います。同時に私たち教師も、青森県の暮らしやすさや魅力についてもつと伝えていく必要性を感じています。

県内の企業にも目を向けて!

子どもが県内・県外就職で迷っている時は、先入観やイメージだけではなく、親自身もアンテナを張って企業をよく知り、親子で一緒に青森の良いところや課題を話し合うことが大切だと思います。

県内には、独自の先端技術を誇る企業や、社会貢献をしている企業もたくさんあります。また、職場に保育施設を設置しているなど、子育て環境が整った企業もあるので、

親もアンテナを張り企業を知る大切さ

親世代に聞く!



【インタビュー】  
元青森市PTA連合会会長  
元青森県総合計画審議会委員  
おおさか みほ  
**大坂 美保**さん

多角的な視点でアドバイスしたいものです。

「帰りたいくなる青森」を地域のみんで創る  
これまで、子育て支援、PTA、環境、防災、交通安全などさまざまな活動を通じて地域の子どもたちと関わってきました。

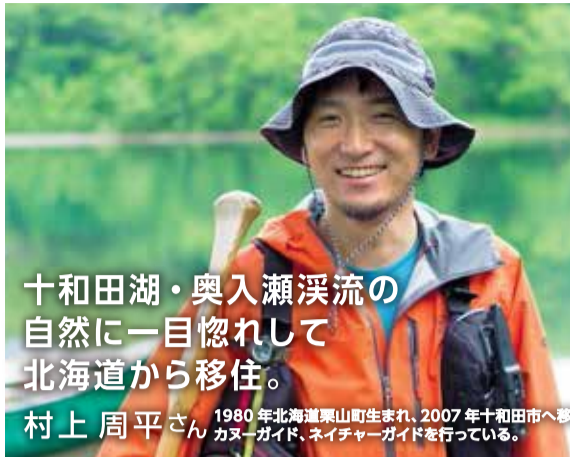
進学・就職などで県外に出た若者も地域との関わり合いで、記憶のなかに「青森」が刻まれ、ふるさとに誇りが持てれば、自然と帰ってきたくなると思います。「青森」がしっかりと子どもたちの記憶に残るよう、地域活動を続けていきます。

企画調整課 ☎017-734-9131

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	12月18日(日) 17:00~17:15
青森テレビ	みんなの県庁!	12月17日(土) 16:55~17:00
青森朝日放送	メッセージ(3回シリーズ)	12月 3日(土) 9:30~9:35
		12月10日(土) 9:30~9:35
		12月17日(土) 9:30~9:35

12月

あおもりで暮らそう!  
あおもりに帰ろう  
関連番組 放送予定



十和田湖・奥入瀬溪流の自然に一目惚れして北海道から移住。

村上周平さん 1980年北海道栗山町生まれ、2007年十和田市へ移住。カメラガイド、ネイチャーガイドを行っている。



都内から弘前へ。自分が面白がるのが、地域おこしの第一歩。

下田翼さん 1986年、東京都小金井市生まれ、2015年に弘前市へ移住。フリーランスで地域おこしに携わる活動に取り組む。

青森移住をきっかけに  
本当の意味での  
「豊かな暮らし」を  
はじめた人たち。



あomorい暮らし

Let's do it together!

詳しくは

あomorい暮らし

Q検索

<http://www.aomori-life.jp/>



アートで工業のまちを活性化。一から全部つくれることが、何よりも魅力的。

大澤苑美さん 1983年、愛知県名古屋市生まれ。2011年4月に八戸市へ移住。八戸市芸術環境創造専門員としてアートプロジェクト「八戸工場大学」などの企画を担当。



安全・安心な野菜を求め、仙台の料理人から青森の農家へ転身。

石田和則さん 1977年、福島県福島市生まれ、全国チェーンの居酒屋店長としてトップ売上を記録。東日本大震災後、瀬田村へ移住し、就農。

# 『帰ってきたい』を応援します!!

## ゆるいつながりで青森への「回帰」をサポート

### 青森県のディープな魅力を再発見!

石川県の大学院、京都に本社のある日本を代表する玩具メーカーでコンピューターゲームの企画・開発業務を経て、八戸にUターン。「これまでのノウハウをいかして、地元で何か面白いことを始めたい」と考え、コンサルティング、ウェブサービスなどを行う個人事務所を立ち上げました。Uターン後は、完全に人生が好転しました。満員電車のストレスもないし、自然が豊かなので子育てにも最適。古くから続く「市」も魅力的で、八戸ってこん

※私たち「あomorい回帰1000人会議」では、青森県へのUIターンを「あomorい回帰」と位置づけています。

### 「あomorい回帰1000人会議」今後の開催スケジュール

◎弘前会場 日時/平成29年1月22日(日) 14:00~16:30 会場/アートホテル弘前シティ3階オパール・ダイヤモンド  
◎青森会場 日時/平成29年3月4日(土) 14:00~16:30 会場/新町キューブ1階グランパレ

詳しくは、[あomorい回帰1000人会議](#) [Q検索](#)

なに面白い街だったんだ!と実感。下北・南部・津軽と、エリアごとに違う文化を持つ青森の奥深さを再発見している毎日です。

### うらやましがられるUIターン者になる

「あomorい回帰」した人たちのゆるやかなネットワークをつくり、「あomorい回帰」を検討している人に対して青森の生の情報を発信することを目的に、「あomorい回帰1000人会議」を設立しました。統計では分からない情報を共有したり、人と人のつながりのなかで新たな活動を始



【インタビュー】  
あomorい回帰1000人会議 代表  
八戸学院大学学長補佐 ビジネス学部 特任教授  
たまき しんいちろう  
玉樹真一郎さん

めたり。私たちが青森をとことん面白がって暮らす様子を知り、首都圏に住む人が「自分もあんなふうに暮らしたい」と、うらやましくなるような楽しい場をみんなでつくっています。

## 青森暮らしサポートセンター

東京・有楽町に移住相談窓口を開設(月曜、祝日、年末年始を除く)しています。首都圏在住の県出身者など、「青森暮らし」をお考えの知り合いの方にぜひご紹介ください。しごと、住まい、移住支援、各種イベントなどの情報を揃え、幅広い相談に対応しています。



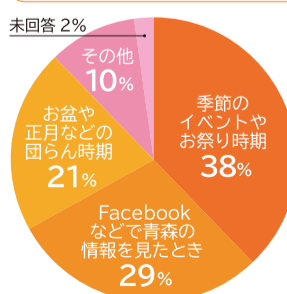
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階 ふるさと回帰支援センター内  
TEL.03-6273-4820(直通)  
090-6342-6194(移住・交流相談員)  
FAX.03-6273-4821  
E-mail.aomori@furusatokaiki.net  
開設時間 10:00~18:00

## 首都圏に暮らす青森人のホンネ

県では、首都圏で暮らす本県出身の皆さんに、青森の仕事や食をキーワードに、青森の暮らしを感じてもらおう交流会「青森に移住しNight」を開催しています。青森県出身者のUターンへのホンネは!? (次回開催予定/平成29年1月28日)

詳しくは、[あomorいっていいなあ](#) [Q検索](#)

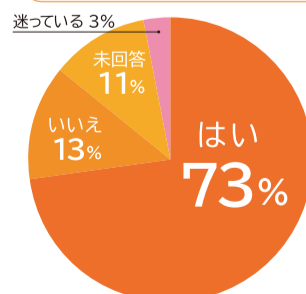
### Q:どんなときに青森に戻りたいと思いますか?



◎その他の理由 》おいしい空気を吸いたいと思うとき。》なぜか行きたくなる時があつて。》季節毎の自然の風景を見たい。》青森ならではの食材が旬な時期。》おいっこ、めいっこの運動会や学習発表会。》いつも。》ほぼ常に。

※平成27年度に3回にわたって行われた首都圏青森県出身者交流会でのアンケート集計結果。

### Q:いつか青森に戻って暮らしたいと思いますか?



◎はいの場合、その理由は何ですか? 》友人がいる、温泉、食べ物。》東京にずっといる想像がつかない。》時の流れがゆったりしている。青森の山や海に癒やされるから。》精神的に自分の軸が戻る気がするから。》居心地がいいから。》子育ては青森でしたい。

# 旬を食べよう。 あおもり野菜で 簡単ヘルシークッキング

大鰐温泉もやし編



めの衛生管理や、土床の温度調節にとっても気を遣います。

水耕栽培では味わえないシャキシヤキした歯ごたえと香りが特徴なので、「しゃぶしゃぶ」や「味噌キムチちゃんこ鍋」など鍋物がおすす。汁物にすると、とってもおいしいだしが出ます。11月～4月に、「大鰐町地域交流センター鰐Comel」や、町内のスーパーなどで購入できますので、ぜひ味わってみてください！

弘前藩にも献上！  
温泉熱で育てる幻のもやし



大鰐温泉もやし伝承後継者(大鰐町) 八木橋 祐也さん 八木橋 順さん

大鰐温泉もやしは、温泉熱で地温を高めて栽培するのが特徴で、江戸時代から大鰐に伝わる津軽伝統野菜です。大豆は、先人から代々受け継いだ地域在来種の「小八豆(こはちまめ)」という品種で、今も町内限定栽培、門外不出で守り続けています。

## 大鰐温泉もやしと 鱈のキムチ鍋



【一人分のエネルギー：245kcal／塩分：3.6g】

〈材料：4人分〉

大鰐温泉もやし 150g  
にら 100g  
パプリカ 130g  
木綿豆腐 1丁  
ねぎ 100g  
鱈(4切) 300g  
かたくり粉 大2  
くずきり 40g

〈作り方〉

- ① 大鰐温泉もやしにらは4cmの長さ、パプリカはうす切り、ねぎは斜め切りに。
- ② 木綿豆腐は3等分にして、厚切りにする。
- ③ 鱈は1切を2等分し、かたくり粉をまぶす。
- ④ 鍋にだしを入れ、煮立ってきたらくずきりを入れる。
- ⑤ 次に鱈を入れ、一煮立ちしたら鱈を別皿に取り出す。
- ⑥ ⑤の鍋に、キムチ・塩・酒を入れて味を調えた後、①②と鱈を入れ、一煮立ちしたら完成。

るみ子先生のワンポイントアドバイス

大鰐温泉もやしは、煮てもシャキシャキ感が無くならず、香りが良く、良いだしが出るのが特徴。キムチの旨味と相まって、他食材にも深みがあります。鍋にする時は香りが一番強い、煮えはじめが食べごろです。

レシピ開発・調理／管理栄養士 福土るみ子



## 私が出会った 青森のイッピン

vol. 4 南部裂織(南部裂織保存会)

3世代がひとつになって発信する「新たな価値」

今回訪れたのは、十和田市にある匠工房「南部裂織の里」。興味深かったのは、200年前の女性たちの知恵と家族への愛情が南部裂織の美しさを作り上げていること。そして、さらに若い世代へも発信すべきだと立ち上げられた「Sakiori 3G Project」のセンスの良さ。それは、20代の美大生と40代の手芸作家たちがデザインし、60代の方が織りあげる、3世代の女性が融合して一つの作品を作るというコンセプトで展開。南部裂織の帯を巻き、ファッションショーを行ったり、バッグやネックストラップなど普段使いできる商品を開発しているという。今年8月、地機(じばた)の代わりにノートサイズのダン



青森県伝統工芸士：澤頭ユミ子さん



Sakiori 3G Projectの作品



南部裂織保存会会長：小林輝子さん(左)、「Sakiori 3G Project」を運営する小林ベイカー央子さん(右)

ノが溢れる今の時代だからこそ、会員たちが受け継ぐ「もったいない精神」の価値が、多くの人を惹きつけているように思えた。

本誌題字タイトル／「青森さらりイッピン」ロゴタイトル



書家  
菊池 錦子 KINKO KIKUCHI

【プロフィール】

青森県弘前市出身  
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影／「青森さらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン  
能登 直 Sunao Noto

【プロフィール】

1999年3月神奈川大学外国語学部 卒業。  
その後、仙台のスタジオでアシスタントを経て、2005年に独立し a presto として活動中。  
モデルを中心とした人物や広告、スポーツの撮影を行っている。公益社団法人日本広告写真家協会正会員・国際スポーツプレス協会会員・一般社団法人 日本スポーツプレス協会会員

「青森さらりイッピン」とは

青森県が誇る「生真面目な生産者や卓越した制作者などの“ヒト”」、「高い技術力・技によって生み出される“モノ”」、「青森ならではの仕組みや新しい取り組みなどの“コト”」の要素を満たす、「世界に誇れるもの」や「将来性に大いに期待できるもの」を「青森さらりイッピン」と表現したものです。

# 想定を上まわる災害が発生しています

～人命を守ることを最優先に『防災公共』の取組を進めています～

## 防災公共とは

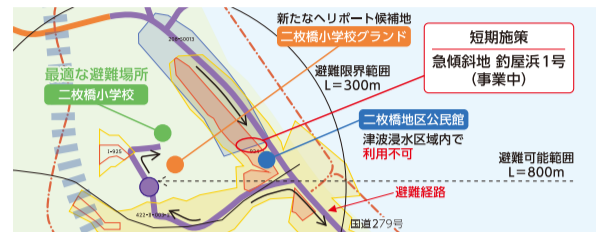
災害時に人命を守ることを最優先に、「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した防災対策と危機管理体制の強化などの取組を、「防災公共」として提唱しています。ここで言う「逃げる」とは、災害の発生時に、とにかく安全な避難所・避難場所へ早く避難するという一方で、「孤立集落をつくらない」というのは、集落や避難所と役場等を結ぶ経路を確保するという事です。

## お住まいの地区の避難経路を確認してください

県では、防災公共の考えに基づいて、平成26年6月までに全市町村分の「防災公共推進計画」を策定しました。この計画では、災害時の「逃げる」「孤立集落をつくらない」ための経路を提案するとともに、この経路が確保できるように危険箇所の対策を検討しています。計画は、青森県の6地域の県民局ごとに冊子にしており、各地域整備部や市町村の防災担当窓口で閲覧できます。また、各市町村ごとに青森県のホームページにも掲載していますので、お住まいの地区の情報を、ぜひ、ご覧ください。

## 地域の実情にあったより実践的な計画にするためご意見をお願いします

「防災公共推進計画」を、地域の実情に合ったより実践的な計画にするためには、地域の方々のご意見をいただくことが大切になってきます。いただいたご意見は、避難訓練などに活かすよう市町村と情報交換をするとともに、避難経路や危険箇所対策の計画を見直す際にも参考にさせていただきたいと考えています。ご意見は、整備企画課までお寄せください。



詳しくは、県庁HP [防災公共](#)

整備企画課 ☎017-734-9644

# 青森県職員の給与と職員数のあらまし

県では、人事行政を運営するにあたっての公正性・透明性を高めるため、人事行政の概要を公表しています。公表内容の中から、県職員の給与と職員数のあらましをお知らせします。

## 給与

職員の給与は、県内民間事業所の給与実態などの調査結果に基づく県人事委員会の勧告を受け、国や他の地方公共団体との均衡を考慮しながら、県議会の審議を経て、条例で定められています。

### ■ 職員の初任給与と平均給料月額状況 (平成28年4月1日現在)

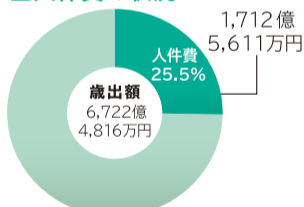
区分	学歴	初任給月額	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	大学卒	176,700円	326,100円	43.4歳
	高校卒	144,600円		
警察職	大学卒	197,500円	304,600円	38.8歳
	高校卒	166,700円		
高校教育職	大学卒	197,900円	374,600円	45.7歳
小・中教育職	大学卒	197,900円	385,100円	46.9歳
技能労務職	高校卒	142,000円	301,800円	49.3歳

### ■ 知事や県議会議長などの給料・報酬月額の状況

区分	給料・報酬の月額	備考
知事	1,016,000円	給料20%減額
副知事	873,000円	給料10%減額
県議会	議長	910,000円
	副議長	810,000円
	議員	780,000円

(平成28年4月1日現在)

### ■ 人件費の状況



(平成27年度普通会計決算)

## 職員数

### ■ 部門別の職員数の状況 (各年4月1日現在)

区分	職員数		
	平成27年	平成28年	増減
一般行政部門	3,818人	3,816人	▲2人
教育部門	11,860人	11,750人	▲110人
警察部門	2,675人	2,678人	3人
公営企業等会計部門	1,141人	1,172人	31人
合計	19,494人	19,416人	▲78人

### ■ 定員適正化の状況

職員数については、引き続き執行体制の簡素化を図るため、目標を定めて計画的に管理することとしています。一般行政部門を例にとりますと、平成25年度から平成30年度までの6年間で60人以上を削減する計画に取り組んでいます。

詳しくは、人事課、県政情報センター、各合同庁舎の地域住民情報コーナーのほか、ホームページでもご覧になれます。

県庁HP [人事行政](#)

人事課 ☎017-734-9047

## 県職員からのお知らせコーナー | 環境政策課 石上 憲一

# 12月は地球温暖化防止月間です

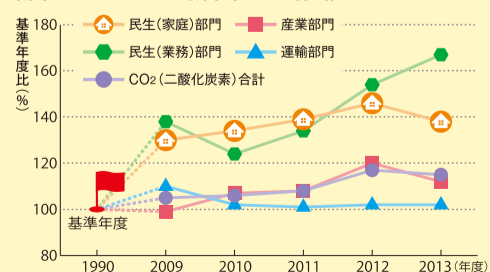
～CO<sub>2</sub>削減チャレンジキャンペーン2016～



地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の2013(平成25)年度県内排出量は、青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度である1990(平成2)年度と比べて15.3%の増加、特に家庭部門では37.8%も増加しています。また、気象庁データによると、青森の年平均気温は1886(明治19)年以降、100年あたり1.76度の割合で上昇しています。

本県の場合、1年のうち家庭において最もエネルギーを使用するのが冬です。これからの時期は、特に私たち一人ひとりが普段の生活で省エネに取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努める必要があります。

### 部門別のCO<sub>2</sub>排出量の推移 [基準年度比]



そこで、県では、家庭での節電など、エコアクション(環境配慮行動)に取り組んだ結果を報告すると、抽選で賞品が当たる「CO<sub>2</sub>削減チャレンジキャンペーン」を実施しています。キャンペーン期間中(平成28年9月から平成29年1月まで)連続した3か月分の電気使用量等をウェブまたは応募用紙から報告することで応募できます。詳しくはホームページをご覧ください。



詳しくは、HP [あおりエコの環](#)  <http://econowa-smile.com/>

環境政策課 ☎017-734-9243

## 子どもたちの夢と思い

青森県知事 三村 申吾

県の広聴活動「未来デザイン県民会議－こんにちは!知事です－」で、県内の小・中学校を訪れ、子どもたちの夢やふるさとへの思いを直接伺っている。

今月号の特集内容は「県内の若者定着とあおもり回帰」と云うことから、原点とも云うべき小中学生の考えを紹介してみたい。

「私は子どもが好き。子どもたちが病気やけが、不慮の事故などで命を失うことがないように、将来は小児科医になりたい。」

「青森県は、自分のなりたい職業に就きづらいイメージがあり、それが若い人の都会への流出につながっているのでは。」

「僕は、青森県に安心して優しい老人ホームを建てたい。高齢者が長生きし、みんなの役に立てる大工になりたい。」

「私の夢は小学校の先生。田舎の学校が減っていますが、自然豊かな場所にある学校は、農業や畜産で働きたいと思う子どもを育てている

と思います。」

「私は将来、栄養士になりたい。栄養バランスを考えた食事をつくり、短命県を返上したい。」

「新幹線が開通しても、観光客は通り過ぎて北海道に行ってしまうのではないか。開業後もずっと観光客が来るような魅力的な地域づくりの方法は?」

子どもたちはしっかりと本県の課題を見つめているし、純粋にふるさと青森を愛し、青森を素敵にするために自分たちも一緒に努力しようと、心から思ってくれている。

だからこそ、我々大人の本気度、一步一步着実にふるさとを良くしようとする強い意志と具体の実行が問われていると、気を引き締めている。

子どもたちの声を聞いていると、自分も次世代のためにますます頑張らなければ!と奮い立たせてくれる。

## AOMORI information

あおもりインフォメーション

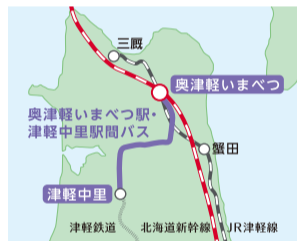
### 奥津軽いまべつ駅～津軽中里駅間 バスをご利用ください



～冬道も安心、バスと鉄道を乗り継いで県外へのお出かけや津軽半島の観光へ!～

北海道新幹線開業に伴い、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から津軽鉄道津軽中里駅までを結ぶバスを運行しています。1日4往復(8便)、毎日運行していますのでぜひご利用ください。

区分	津軽中里駅	奥津軽いまべつ駅	区分	奥津軽いまべつ駅	津軽中里駅
1便	8:45	9:55	2便	10:40	11:50
3便	12:10	13:20	4便	14:00	15:10
5便	14:10	15:20	6便	15:45	16:55
7便	17:35	18:45	8便	19:40	20:50



※運行ダイヤは平成28年10月31日現在のものです。

※時刻・運賃等に関する問い合わせは、弘南バス株式会社乗合部まで TEL.0172-32-2241 交通政策課 ☎017-734-9151

### 防ごう! 油流出事故

冬期間は油の流出事故が多発しています。河川に油が流出すると、周辺環境に多大な影響を及ぼすだけでなく、油の回収・オイルフェンスの設置等の費用を**原因者が負担**することとなります。油流出事故の多くは、うっかりミスや管理不備が原因で、ちょっとした注意で防げるものです。ご家庭のホームタンクの定期点検等を怠らないようにしましょう。

また、油流出事故を発見した場合は、すぐに各市町村や最寄りの消防署、または国や県の機関にご連絡ください。

詳しくは、県庁HP [美しいふるさと](#)  河川砂防課 ☎017-734-9662

### 2017年版青森県民手帳 好評発売中!

青森県のデータ満載でお求めやすく今年も税込500円。抽選で県産品が当たるキャンペーン実施中。

県内の主な書店、コンビニエンスストア、ホームセンター、スーパーなどでお求めになれます。

**話題の県産米「青天の霹靂」が当たる第1弾応募締切は12月31日(土)です!**

応募方法は手帳オビ裏面をご覧ください。

詳しくは、HP [青森県民手帳](#)

統計分析課・青森県統計協会 ☎017-734-9165



### 暴力団の摘発のために 情報をお寄せください

暴力団の摘発には皆さまの情報提供が不可欠です。

「匿名通報ダイヤル」(0120-924-839、電話受付は月～金 9:30～18:15)は、暴力団が関与する犯罪等の通報を匿名で受け付け、有効な通報を行った方に対して、10万円以内の情報料が支払われます。また、暴力団からの不当な要求や嫌がらせでお困りの方は、お近くの交番か警察署、警察安全相談電話(017-735-9110)またはプッシュホン電話#9110)または青森県暴力追放県民センター(017-723-8930)へご相談ください。

詳しくは、HP [匿名通報](#)  警察本部組織犯罪対策課 ☎017-723-4211



### みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション

**テレビ** ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■ATV[みんなの県庁!](土)16:55～17:00  
■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00～17:15 (放送週が変更になることがあります) ■ABA[メッセージ](土)9:30～9:35

#### ラジオ

■RAB[青森県広報タイム](月～木)7:30～7:35  
■エフエム青森[あおもり・ふあん](月～金)16:55～17:00  
■エフエム青森[申吾のほっとチャンネル](第一日曜日)7:00～7:30

#### 新聞

■「広報あおもりけん」毎月1日・16日  
東奥日報・デーリー東北・陸奥新報

■青森県広報広聴課公式Facebook (<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ■青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ■青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

### 編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137

〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>  
※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。

この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。

県民だよりあおもりの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県HP [グリーン電力証書](#)